

# うっしっしいー情報2019

9月市



豊岡農業改良普及センター

9月11日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が92万8千円、雌が91万1千円でした。

普及センター調べ（税込価格）  
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	7	0.978	971,537	3	0.852	870,480	10	941,220
丹波篠山	7	0.964	923,709	5	0.855	976,752	12	945,810
丹波	17	0.917	912,664	16	0.840	871,358	33	892,636
朝来	6	0.946	956,700	4	0.806	885,870	10	928,368
播磨	18	0.923	871,740	6	0.793	877,860	24	873,270
美方郡	57	0.955	946,554	41	0.845	946,054	98	946,344
豊岡	19	0.979	938,065	12	0.843	872,100	31	912,530
養父	34	0.948	950,845	12	0.835	970,020	46	955,847
摂津・神戸	12	0.913	866,880	4	0.834	896,940	16	874,395
県北C	4	0.866	810,270	5	0.750	739,368	9	770,880
市場全体	181	0.946	927,971	108	0.834	911,350	289	921,759

# 9月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	40	0.969	971,190	15	0.876	1,029,384	55	987,061
2	芳山土井	14	0.957	920,160	13	0.851	994,182	27	955,800
3	丸池土井	13	0.968	944,834	1	0.918	1,017,360	14	950,014
4	照和土井	9	0.976	962,880	10	0.849	913,464	19	936,872
	総計	181	0.946	927,971	108	0.834	911,350	289	921,759
5	丸明波	9	0.968	923,880	3	0.853	902,880	12	918,630
6	丸宮土井	27	0.945	916,880	15	0.817	914,976	42	916,200
7	照忠土井	27	0.934	925,360	18	0.822	861,840	45	899,952
8	丸春土井	12	0.913	885,600	15	0.823	873,000	27	878,600
9	千代藤土井	16	0.902	885,735	5	0.818	834,408	21	873,514

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

## ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A	A	B	B	B	A++
2	芳山土井	A+	A++	A++	C	A+	A+
3	丸池土井	C	A+	C	B	A+	A++
4	照和土井	A++	A++	B	B	A	A+
5	丸明波	D	A++	D	B	A++	A+
6	丸宮土井	C	B	A	A++	A+	A++ → A+
7	照忠土井	B	A+++ → A++	A	A+	A+++	A+
8	丸春土井	B → C	B → C	B	B	B	A++ → A+
9	千代藤土井	A	A+++	D	A+	A++	A++ → A+

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和01年8月現在)

# 子牛づくりの第一歩は初乳給与!!

## 哺育期の飼育管理③

今年度は、哺育期の飼育管理についてお伝えしています。今回は、その始まりである「初乳」について考えていきましょう。「初乳」については、講習会等で何度か聞いているかも知れませんが、確認の意味でもう一度復習しましょう！

### なぜ初乳が重要なのか？

子牛は母牛から胎盤を通じて免疫グロブリンが移行されないため、生まれたばかりの子牛は免疫機能が発達していません。子牛は初乳を飲むことで初めて免疫グロブリンを取り込み病原体から身を守る免疫を得ることができます。

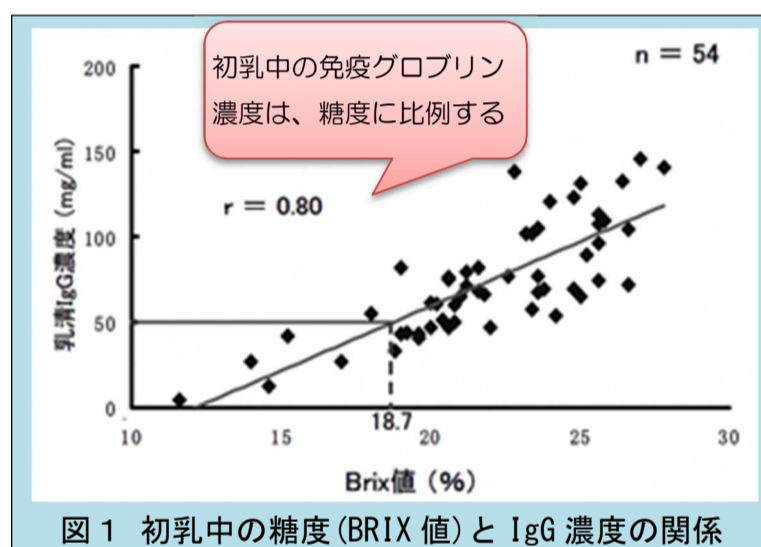
初乳給与の主なポイントは、「**①どのような品質であるか、②どのくらいの量を飲んでいるか、③どのタイミングで飲んでいるか**」の3つです。では、ひとつずつ確認していきましょう。

### 1 初乳の品質は大丈夫ですか？


初乳の品質を評価する指標として、免疫グロブリンの濃度があります。免疫グロブリンは大きく分けてIgG、IgM、IgAの3種類に分類され、そのうち約85%を占めるのがIgGです。黒毛和種では、初乳についての試験研究例が少ないため、乳牛での指標になりますが、初乳に含まれる**IgG濃度が50mg/ml以上**あれば良質な初乳に位置付けられます。

そのIgG濃度は、糖度計で簡単に測定できます。目安としては、**糖度(BRIX値)20%でIgG濃度が約50mg/ml、30%で約100mg/ml以上**であると推定できます(図1)。

IgG濃度は初産牛や、母牛がストレス(高温、環境変化など)を受けた場合などは低くなる傾向があるため注意してください。



### 初乳の品質が測定できます！

<b>光学式糖度計</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○手軽に測定</li><li>○1万円前後</li></ul> 	<b>デジタル式糖度計</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ボタン操作で手軽</li><li>○3万円前後</li></ul> 
---	--

※ 数滴の初乳があれば測定できます  
試したい方は普及センターの機械を貸し出します

### 2 初乳哺育量は十分ですか？

子牛の血清中IgG濃度が10mg/mlを下回ると子牛生存率が低下します。子牛の血清中IgG濃度10mg/ml以上を維持するためには、IgG濃度50mg/ml以上の初乳を、**2L以上(IgG量で100g)**飲ませる必要があります。

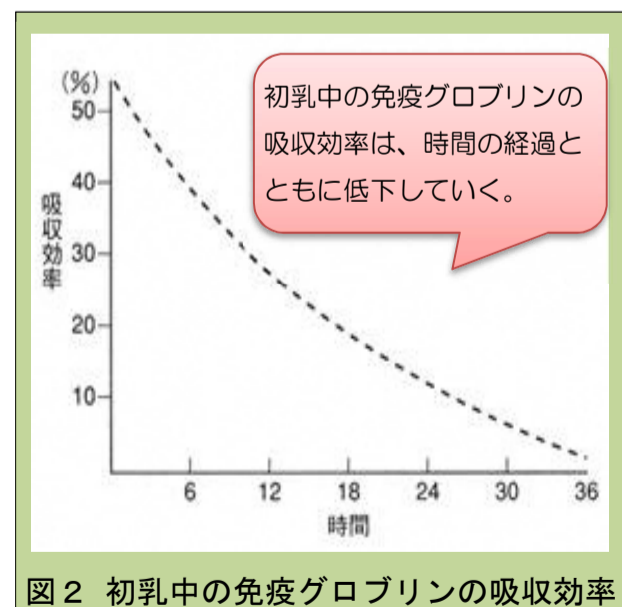
しかし、IgG濃度が低い初乳の場合、2Lではこれに満たないため、給与量を増やしていく必要があります。ただ、但馬牛の場合、初乳が2Lも出ない牛が多くいることが考えられるため、**初乳製剤などを併用**しながら免疫の獲得を図っていきましょう。

### 3 初乳は給与のタイミングが重要です

初乳の質・量が十分なことに加え、タイミングも重要です。生後、時間の経過とともに子牛の免疫グロブリンの吸収効率は低下し、24時間を過ぎると極端に低下します(図2)。

以前は、吸収効率を考え、分娩後すぐに初乳を給与すべきと言われていましたが、それでは、胃内の羊水により免疫グロブリンの吸収が悪くなるということが解ってきました。そのため、**子牛が哺乳欲を示すようになったら**親牛につけ、初乳を飲んでいることを確認してください。免疫グロブリンの追加とエネルギー供給の観点からも、**初乳製剤を適正温度・濃度で希釈し、追加給与**するとよりGOODです。

良質な初乳を確実にのませることは、健康な子牛を作る第一歩です。確実に飲んでいることを確認し、不明であれば初乳製剤を給与しましょう！



#### Point

- 【品質】 良質な初乳を給与しましょう！<IgG濃度50mg/ml以上(糖度(BRIX値)20%以上)>
- 【給与量】 給与量は良質な初乳で2L以上を目安に！初乳が少ない場合は初乳製剤の追加給与をしましょう！
- 【時間】 哺乳欲が出れば、早期に給与しましょう！